



インターネットトラブル防止出張授業

現在、インターネットは様々な場面で活用されており、私たちの生活には欠かせないものになっています。情報収集のほか、買い物やゲーム、音楽や動画の配信、SNSなど生活を便利にしたり、豊かにしたりしています。一方、事件や犯罪の温床になったり、交友関係のトラブルになってしまったりするなど、大人も子供も利用方法のルールやマナー、知識を身につけることが求められる状況にもなっています。



少年センターでは市内の公立小中学校から依頼を受け、児童生徒がトラブルに巻き込まれることを未然に防止するために「インターネットトラブル防止出張授業」を行っています。オープンスクールでの依頼も受けており、保護者の方への周知なども行っています。

スマホ・タブレットの所持率		
	小学生 2292人	中学生 2515人
スマホ タブレット	28%	45%
スマホのみ	30%	49%
タブレットのみ	23%	4%
持っていない	19%	2%

スマホ・タブレットでよくやっていること		
	小学生	中学生
動画視聴	34%	37%
ゲーム	29%	19%
メッセージ	16%	18%
SNS	5%	18%
情報	6%	4%
学習	5%	1%
その他	5%	3%

児童生徒の事前アンケートを指導に活用しています。

R7年度の授業ではSNSの利用を中心に、トラブルの事例や使用方法の注意点などを伝え、メッセージアプリの利用については、文字だけによるコミュニケーションの難しさや、グループチャットでのマナーについて伝えました。

自分自身が正しい知識を持ち、判断して行動し、相手への気遣いの心を持つことがインターネットトラブルの未然防止につながります。授業で学んだことを生かし、インターネット社会を安全に楽しく過ごしてほしいと思います。

【少年センター】